

まちと人の想いが交わる情報交差点

# 広報甲佐

12 December 2024  
No.665

[特集]

令和6年度甲佐町功労者表彰

第39回「甲佐町産業文化祭」

令和6年度 甲佐町スポーツ祭



# 広報こうさ R6.12

## CONTENTS

- 02 目次／人のうごき
- 03 令和6年度甲佐町功労者表彰
- 04 第39回甲佐町産業文化祭
- 06 令和6年度 甲佐町スポーツ祭
- 08 こうさの話題
- 10 健康だより／甲佐町フィットネスセンター
- 11 スマイル／休日当番医／子育てカレンダー
- 12 図書室へ行こう
- 13 公民館だより／人権
- 14 甲佐町進出企業協議会だより／甲佐高校通信
- 15 甲佐町イベントカレンダー
- 16 町からのお知らせ
- 18 暮らしの情報
- 22 うたごよみ
- 23 甲佐の野菜で作ってみよう！
- 24 Kosa Style 東京甲佐会会長・岩本憲章さん

## —— 表紙の写真 ——



11月10日（日）に開催された産業文化祭。文化協会の作品展示やステージ発表、グルメや体験コーナーなどのブースもたくさんあり、甲佐の秋の一大イベントを楽しんでいたのではないのでしょうか。産業文化祭の様子はP4でご紹介していますのでぜひご覧ください。

## 🌱 町からの情報をお届けしています 🌱



メールアプリ「こうさ情報たしかめーる」の登録をお忘れなく！



## 🌱 人のうごき（10月31日現在） 🌱

総人口

9,952人 男 4,790人／女 5,162人

前月比

-8人 男 -8／女 ±0

○出生 3人 ○死亡 16人  
○転入 19人 ○転出 14人

総世帯数

4,433世帯 前月比 +7

令和6年度

# 甲佐町功労者表彰式



## 7人の功績をたたえて

11月3日(日)町生涯学習センター・ホールで、令和6年度功労者表彰式が開催されました。

表彰は、町が「町功労者表彰規程」に基づき、毎年文化の日に開催。本年度は多岐にわたり活躍し町に貢献された7人を表彰。町関係者や区長などが出席しました。

式典では、受賞者一人一人に甲斐高士町長が表彰状と記念品を贈呈。「文化」、「自治」、「特別」の各分野において、功績をたたえました。

甲斐町長は「受賞されます皆さまは、各分野で多大な貢献をされ、地域発展に大きく寄与していただきました。心から敬意と感謝を申し上げます。今後も、町民の皆さまの幸福感を高め、更に発展した魅力ある甲佐町を築くために職員とともに頑張ってください。受賞者の皆さまにおかれましては、これまでの貴重な経験と知識をもとに引き続き本町の町政発展・地域振興にご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げます」とあいさつ。続いて宮本修治町議会議長、古田利武区長が祝辞を述べ、功労者を代表して、師富省三さんが謝辞を述べました。



自治功労

**本田 一誠さん**

〔糸田区〕

甲佐町嘱託員・区長(9年5か月)  
町固定資産評価審査委員会委員(3年)



自治功労

**市下 克幸さん**

〔下横田区〕

甲佐町嘱託員(6年)  
甲佐町選挙管理委員会委員(4年)



自治功労

**師富 省三さん**

〔熊本市〕

甲佐町副町長(16年)



文化功労

**村上 邦生さん**

〔上豊内区〕

甲佐町文化協会会長(11年11か月)



特別功労

**沼田 峰子さん**

〔北原区〕

人権擁護委員(11年目)



特別功労

**福田 欣一さん**

〔麻生原区〕

民生委員・児童委員(3年)  
甲佐町教育委員会委員(4年)  
甲佐町嘱託員・区長(4年2か月)



特別功労

**田上 菊夫さん**

〔谷内区〕

民生委員・児童委員(3年9か月)  
甲佐町嘱託員・区長(6年)  
町固定資産評価審査委員会委員(3年)

# 第39回 甲佐町産業文化祭



11月10日(日) 第39回甲佐町産業文化祭が町役場、町生涯学習センターで開催され、町内外から訪れた多数の来場者が、甲佐の秋の祭典を楽しみました。

役場南側駐車場では農業祭、商工祭の各種イベントを開催。出店ブースには町内生産者の加工品や町内飲食店のグルメなどが並び、会場に設けられた特設ステージでは、竜野保育園児によるマーチング、甲佐中学校吹奏楽部の演奏やキッズダンス、甲佐高校生のバンド演奏などが行われ会場を盛り上げました。

また、パトカー、消防車の乗車体験や消火体験、恒例となったニラ鍋や本町特産のニラを使ったニラ飛ばし大会、大抽選会も行われ、大盛況となりました。

町生涯学習センターで開催された文化祭では、同センター・ギャラリー・モールに書道や絵画、短歌、パッチワークなどの作品が展示され、ステージでは詩吟、日舞、ダンス、相撲甚句、三味線、大正琴、オカリナ、コーラスなど多数の発表があり、一つ一つの発表に客席からは大きな拍手が送られました。



【フォトレポート】

# 令和6年度 甲佐町スポーツ祭



スポーツの秋にはじける笑顔



### ■スポーツの秋を満喫

10月20日(日) 熊本甲佐総合運動公園で甲佐町スポーツ祭が開催されました。同イベントはスポーツを普及し、市民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、健康な町づくりと体力づくり、地域社会の親睦と発展を目的として、甲佐町スポーツ協会、町、町教育委員会が主催。

同イベントは地区対抗の部とスポーツ祭の部の2部門に分かれており、地区対抗の部ではソフトボール、ソフトバレーボール、ビーチバレーボール、グラウンドゴルフ、ゴルフ、モルック、大縄跳びの7種目、スポーツ祭の部ではジグザクボーリングサツカー、ストラックアウト、50呎走測定、青空ヨガ教室などの5種目を実施。各地区の選手や子連れの家族などが秋晴れの運動公園でスポーツの秋を満喫しました。

また、閉会式終了後には豪華賞品が当たる大抽選会が行われ、参加者は最後までスポーツ祭を楽しみました。

### ▼地区対抗の部 大会結果

- 優勝 甲佐地区
- 2位 乙女地区
- 3位 竜野地区



▲深水代表取締役（左）に感謝状を手渡す甲斐町長

## 町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

9月5日（木）町本庁舎で、本町へ寄附いただいた山王株式会社（熊本市・深水弘一代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からの寄附は昨年度に続き2回目。寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲犬とのふれあい方を真剣に聞く児童たち

## いのちの大切さを学ぶ 甲佐小学校で「命の教室」授業を実施

10月28日（月）甲佐小学校多目的室で1・2年生を対象に「命の教室」授業が行われました。同授業は犬とのふれあいを通じて豊かな感受性と命を慈しむ心を育てることを目的に実施。児童たちは犬の心音を聞き、自分たちと同じ命であることや、犬との正しいふれあい方を学びました。授業の最後には絵本の朗読があり、児童たちは人と動物の幸せについて考えました。



▲町本庁舎で意見交換を行う東京甲佐会の一行

## 組織拡充に向けて町と連携を 東京甲佐会の一行が来熊

10月24日（木）、東京甲佐会（岩本憲章会長）ほか8名が来熊されました。同会の一行は熊本市などを視察されたのち、本町を訪問。町本庁舎にて「東京甲佐会」の会員確保に向けた意見交換が行われました。岩本会長は「本会も結成から30年が経過し、会員の高齢化が顕著である。組織の若返りや本会の存続について町と連携して進めていきたい」と述べられました。



▲協定書を締結した御船町の藤木町長（左）と甲斐町長（右）

## 住民の安全、安心を守るために 御船町と緊急連絡管基本協定を締結

10月22日（火）本町と御船町が「御船町・甲佐町における緊急時の応援給水に伴う連絡管設置に関する基本協定書」を締結しました。本協定で両町は、町境にある両町の上水道をつなぎ、災害や事故に備え相互に応援給水する協定を結びました。連絡管は令和9年3月末に完成予定。甲斐町長は「今回の取り組みは住民の暮らしの向上につながる」とあいさつしました。



▲団体、個人ともに優勝を飾った和田選手

## 和田選手が九州大会で優勝 第42回九州少年柔道大会

7月6日（土）～7日（日）人吉スポーツパレスで開催された第42回九州少年柔道大会に甲佐町総合型地域スポーツクラブの甲心館に所属する和田希夢琉選手（龍野小5年・浅井区）が出場しました。和田選手は団体戦で県代表として参加し優勝。個人戦でも見事優勝を飾りました。和田選手は「日の丸を背負う選手になりたいです」と今後の抱負を話しました。



▲敬老会で案内を行う子ども民生委員

## 高齢者とのつながりを深める 子ども民生委員が地域活動に参加

10月27日（日）龍野小学校体育館で、龍野地区敬老会が開催され、子ども民生委員の2名がスタッフとして参加しました。高齢者とのふれあいを通して、地域社会の一員としての自覚と思いやりの心を育てる目的で昨年から始動した子ども民生委員制度。子ども民生委員は来場者への声かけや受付案内、席への誘導などを行い、地域の高齢者との交流を深めました。



▲胸骨圧迫を学ぶ町消防団員たち

## 町民の人命を守るために 令和6年度普通救命講習会

11月10日（日）町総合保健福祉センター鮎緑・ホールで町消防団員を対象とした普通救命講習会が実施されました。同会は消防団員として応急手当に関する正しい知識と技術の向上を図ることを目的に毎年実施。参加した消防団員は、上益城消防署の職員の指導のもと、AEDの使い方や胸骨圧迫などを実践して救命方法を学びました。



▲スタッフの案内に従い夜道を歩く参加者

## 約10<sup>千</sup>のウォーキングに挑戦 甲佐町ナイトハイクが開催

10月25日（金）甲佐町ナイトハイクが開催されました。青少年の育成や異世代交流などを目的に、町青少年健全育成町民会議と町教育委員会が共催。午後7時に町生涯学習センターを出発し、益城橋を渡って美里町中央公民館、やな場でみかんなどを食べて休憩をとりつつ、約10<sup>千</sup>のコースを130人が歩きました。到着後には、町の特産品などの参加賞が配られました。



## 健康だより

## 感染症を予防しましょう

寒くなってくると、感染症が流行しやすくなります。感染症は、①病原体（感染源）②感染経路③宿主（病原体に寄生される相手のこと）の3つの要因が揃うことで起こります。感染症対策では、これらの要因を一つでも取り除くことが重要です。

以下、対策についてご紹介します。

## ①病原体を取り除く、感染経路を断つ

病原体を完全に取り除くことは難しいため、感染経路を断つことが感染拡大防止のためにとっても大切です。人は、無意識に顔を触っていて、目・鼻・口の粘膜から接触感染を起こします。帰宅時や調理前後、食事前などには、こまめに手を洗うことを心がけましょう。



流水だけでなく、石けん・ハンドソープを使って正しい手洗いを行うことで、感染予防効果が大きくなります。また、咳エチケットとして、咳や鼻水等の風邪症状がある際は、正しくマスクを着用することで周囲への感染拡大を防ぐことができます。人が多い場所へ出かける際はマスクを着用する、適宜喚起して空気の入れ替えを行うことも大切です。

## ②免疫力を高める

免疫力が弱くなっていると、感染症にかかりやすくなったり、感染した際に症状が重くなることがあります。普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を摂りましょう。肉・魚・卵・乳製品・大豆製品などのタンパク質と、緑黄色野菜やきのこなどを意識して食べることをお勧めします。

## ③予防接種を受ける

インフルエンザや新型コロナワクチンは、予防接種を受けることで重症化が予防できます。特に感染した際に重症化しやすい定期接種の対象者（65歳以上の方、60～64歳で一定の障害などを有する方）は、予防接種についても検討してみてください。

●お問い合わせ先  
町健康推進課  
☎096-235-8711

## Fitness

## 甲佐町フィットネスセンター

## 動いて、笑って、脳をリフレッシュ！

甲佐町フィットネスセンターでは、認知症予防教室『元気になる脳活』を開催します。物忘れが気になる人や、楽しく運動したい人、認知症予防に取り組みたい人、集中力を高め

たい人を対象に、さまざまな運動を提供します。講座内容には、認知症に関する講話やストレッチ、

筋力トレーニング、二人組ウォーキング、ラダートレーニング、整理運動などが含まれます。教室に参加して体も心もリフレッシュし、元気に過ごしましょう！参加者同士の交流や新しい友達作りの場にも最適です。

## ●開催日時

12月14日(土)・21日(土)・28日(土)  
13時～14時30分

※12時30分から受付開始

## ●参加費

施設利用料のみ

## ●定員

15人程度

## 今月の講師



那須 賢志さん  
(健康運動指導士)



▲「元気になる脳活」で体も心もリフレッシュしましょう

## ●お問い合わせ先

甲佐町フィットネスセンター  
(町総合保健福祉センター内)  
☎096-235-8712

## スマイル

わが家の「笑顔」を紹介します

## 赤ちゃんの笑顔 募集中！

未就学児のお子さんの  
笑顔を広報紙に掲載しま  
せんか？応募期限は  
毎月7日まで。  
ご応募お待ち  
しています▶



■お問い合わせ先  
町企画課  
☎096-234-1115



古閑 <sup>たいよう</sup>大葉ちゃん（2歳）

父・信介さん

母・万莉さん（下豊内区）

寝起きのスマイル！妹のお世話  
がんばってます？？

## 12月・1月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

### +4か月児健診

12月19日（木）午前9時

1月16日（木）午前9時

### +7か月児健診

12月19日（木）午前10時

1月16日（木）午前10時

### +ピカピカ1歳教室

12月13日（金）午前9時20分

### +1歳6か月児健診

1月14日（火）午後1時

### +すくすく2歳児子育て相談

12月20日（金）午前9時20分

### +3歳児健診

1月14日（火）午後1時10分

※健診などの日時は変更となる場合があります。対象の方に  
個別にお送りする通知を必ずご確認ください。

## ● 12月の子育て支援カレンダー

●甲佐町子育て支援センター（竜野保育園内）☎096-234-0305

2日（月）	身体測定（身長・体重）
4日（水）	シール遊び
6日（金）	クリスマスリース作り
9日（月）	ブロック遊び
11日（水）	シャボン玉遊び
13日（金）	お散歩
16日（月）	小麦粉粘土遊び
18日（水）	園庭遊び
20日（金）	クリスマス帽子遊び
23日（月）	ままごと遊び
25日（水）	クリスマス会（要予約）
27日（金）	製作（お正月飾り）

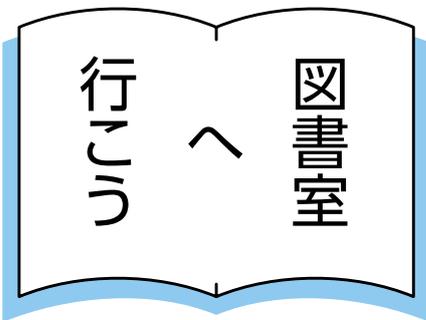
育児相談（電話・面接） 月～金曜日 午前9時30分～午後4時

体験保育 月・水・金曜日 午前9時30分～正午

## ● 休日当番医

月 日	当番医	電話番号
12月1日	荒瀬 医院	096-234-1161
12月8日	谷田 病院	096-234-1248
12月15日	小屋迫 医院	096-234-0165
12月22日	荒瀬 病院	096-234-1161
12月29日	谷田 病院	096-234-1248

●日程は変更になる場合があります。最新情報は町公式ウェブサイトなどをご確認ください



町生涯学習センター・図書館

☎ 096-234-2447 (内線331)

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週火曜  
年末年始
- 貸出冊数 1人5冊まで
- 貸出期間 15日間



▲人権特集コーナーにぜひお越しください

「人権」特集コーナーの紹介  
12月4日(水)～10日(火)までの「人権週間」に合わせて、図書館では「人権」特集コーナーを作り、紹介しています。一般書は、部落差別をはじめ、虐待、インターネット上での人権侵害、ハラスメントなどの様々な人権課題についての啓発本を、児童書は、人権や憲法について

マンガやイラストで解説している本などを紹介しています。この機会に身近にある人権問題に気付き、お互いの人権を尊重し合うことの大切さを考えるきっかけにしませんか。ぜひ、お役立てください。

■0歳児からのおはなし会について

図書館では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

●日時

12月12日(木) 午前10時30分～

●会場

おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター・図書室内)

## 新着図書紹介

### 小説



迷惑な終活

内館 牧子 著/講談社

年金暮らしの原夫婦。“生きているうちに死の準備はしない”主義の夫・英太が、あるきっかけから終活をしようと思いつつ。それは自分の人生にケリをつけること。周囲に呆れられながらも動き始めるが…。面白くて引き込まれる一冊です。



そして誰もいなくなるのか

小松 立人 著/東京創元社

10年前、4人の仲間と2千万円を盗んだ小松立人。埋めてあった金を掘り起こすため集まったが、崖崩れに巻き込まれた。命を落とすはずが死神から1週間の猶予期間を申し渡され…。第33回鮎川哲也賞優秀賞受賞作品です。



浅草寺子屋よろず暦

砂原 浩太郎 著/角川春樹事務所

大滝信吾は、さる身の上を秘して浅草寺の一角で寺子屋を開いているが、大切な人々を守るため、江戸の闇と闘うことに…。浅草の四季を舞台に、家族や友人との縁、下町の人情の機微が描かれた読み応えのある短編連作集です。

### 児童書



世界もっとおどろき探検隊!

ケイト・ヘイル 著/実務教育出版

おどろきの世界へようこそ!世界中の知られざる事実をたどる探検に出かけよう。ひとつの事実から次の事実へと、思いもよらない楽しい形でつながる、新感覚の科学読み物。一度読みだしたら止められない、好奇心をくすぐるトリビア集です。



パンどろぼうとりんごかめん

柴田 ケイコ 作/KADOKAWA

パンを届けにきたコッコ農園が、何者かに荒らされていることを知ったパンどろぼう。見回りに出かけ、犯人のいのしし兄弟を見つけるが、食べられそうになってしまう。そこに登場したのは…。「パンどろぼう」シリーズ第6弾です。



みんなが知りたい!日本の神さまと神社

「日本の神さまと神社」編集室 著/メイツユニバーサルコンテンツ

日本の暮らしに根づく、八百万の神さまの特ちょうや、神社に参拝に訪れた時に注目したいポイント、神社の種類や行事、歴史の舞台となった神社など、さまざまな知識を紹介。神社のお参りの仕方を知ると初もうでにも役立ちます。

# 公民館 だより

■お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447 (内線321)

## ▶自主文化事業のお知らせ

### クリスマスコンサートを開催します

- 開催日時 12月14日(土) 午前10時00分
- 会場 町生涯学習センター・ホール
- 入場料 無料
- 出演 シンガーソングライター MICAさん

## 公民館主催講座ステップアップ講座 「初めてのスマホ教室」



▲講師に質問しながらスマホを操作する参加者

11月14日(木)、町生涯学習センター研修室で公民館主催講座ステップアップ講座「初めてのスマホ教室」を開催し、37名が受講しました。

講師のソフトバンク株式会社のスマホアドバイザーが、スマートフォンの基本的な操作や便利なアプリの使い方などをスライドを使って説明。受講者は、LINEの便利な使い方やGoogleレンズを使った調べものの仕方などを実際にスマホを操作して体験しました。また、スマホアドバイザーに自身のスマホに対する困りごとを相談したり、操作方法などを質問したりして、スマホに対する理解を深めました。

受講者は「講師の説明もわかりやすく、これから少しずつ頑張ってスマートフォンを使いこなしていけたらと思います」と話しました。

## 人権、心豊かに暮らすために

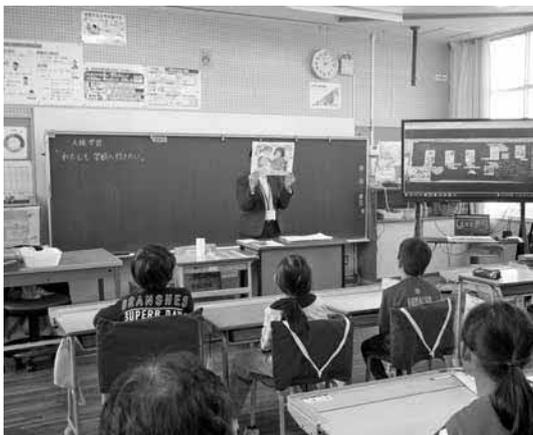
### 令和6年度甲佐町学校人権教育研究会を開催

#### ■小・中学生が人権を考える

11月6日(水)に甲佐中学校(1年生)と白旗小学校(3年生)、龍野小学校(6年生)、それぞれの教室で「甲佐町学校人権教育研究会授業研究会」が開催されました。

同部会では、人権教育に係る授業研究会を通して、教職員の基本的認識を深めるとともに、各学校間の連携を深め、町内における人権教育の充実と発展に資するために本研究会を実施しています。

白旗小学校3年生の授業では、「私も学校に行きたい」を教材にして授業を実施。幼い頃に骨形成不全症であることがわかり、病状の進行により車いすを使つての生活が中心となったかなえさんは、地元の小学校への入学を希望しましたが、訪問教育を受けることになり、地元の小学校への入学は実現しませんでした。3年生の後半から地元の学習会で一緒に学習を始め、自分も小学校に行きたいという気持ちが強くなっていきます。母親のどうにか



▲白旗小学校で行われた人権学習の様子

したいという強い願いを受け、保護者子ども会、先生方の粘り強い取り組みにより、かなえさんは4年生から小学校への通学が実現したという話でした。参加された先生から「子どもたちが、一生懸命にかなえさんやかなえさんの友達の気持ちを考えていたところがすばしかったです」、「児童の素直な言葉や意見が発表できていたところがすごかったです」などの感想がありました。

#### ●お問い合わせ先

町社会教育課

☎096-234-2447

(内線327)

甲佐町進出企業協議会だより

## 町の進出企業が住民との 交流と製品PRを実施

■YKKAP株式会社が甲佐町産業文化祭に初出展

11月10日（日）、甲佐町産業文化祭が甲佐町役場駐車場で開催され、その会場の一角に甲佐町進出企業協議会よりブース出展を行いました。出展については、甲佐町の主要イベントを活用し、会員企業の地域交流を図ることを目的に企画したもので、本年度から取り組みがスタートしました。

参加したYKKAP株式会社熊本甲佐工場（津志田区）のスタッフ



▲出展ブースで製品をPRするYKKAP（株）のスタッフ

### YKK AP 株式会社 熊本甲佐工場

窓やサッシ、産業製品の製造・販売からエクステリアのトータルコーディネートまで幅広く手掛ける。

スタッフはブースに展示を行い、窓リフォームについて町民の方々が活用できる補助金の説明や製品の説明を行うと、来場者は足を止めて聞き入っていました。

同社の西口工場長は「甲佐町に工場を構えさせていただいているのもご縁だと思っています。このようなイベントなどを通して、町民の皆様当社を知ってもらえる機会が増えたらうれしいです」と、今後の展望に期待を寄せました。

## 魅力発信！甲佐高校通信 vol. 21

県立甲佐高校（甲佐町横田 327） ☎ 096-234-0041

## 仲間との絆を深め、 生徒たちが輝いた青垣祭

■生徒たちが作り上げた青垣祭  
10月25日（金）～26日（土）の2日間にかけて、甲佐高校文化祭「青垣祭」を開催しました。

「青垣祭」は、総合的な探究の発表の場として文化活動を行い、学校行事に取り組むことで実践力を養い、文化的行事に対する積極性や、生徒たちが仲間と支え合うことで協働性を育むことなどを目的として毎年開催しています。

今年「YMKKA やりがいをもっと目指せみんなで輝く熱甲さ」をテーマに、甲佐高校と松橋西支援学

校高等部上益城分教室の生徒たちが企画して作り上げた出し物や作品展示、体験コーナーやバザーなど、盛りだくさんの内容で今年の青垣祭を盛り上げました。

体育館では各学年や委員会、部活動、生徒会によるステージ発表の出し物を披露。校舎では生徒たちの美術作品などが多数展示されたほか、飲食物の販売、メダカすくいの出店など、来場者を楽しませました。

「青垣祭」で生徒たちはより一層、仲間との絆を深めることができた素晴らしい2日間となりました。



▲ステージ発表で合唱する生徒（上）と青垣祭フィナーレでの集合写真（下）



甲佐高校ホームページでも  
高校ライフを発信中です▶

# R6.12 甲佐町イベントカレンダー



◀ 詳細はウェブサイト  
でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
12/1 熊本甲佐10マイル 公認ロードレース (町社会教育課)	2 行政区配達 (町総務課) 納期限 (町税務課) 法律・人権・行政相談 (町福祉課)	3	4 がん検診(~12/8) (町健康推進課) マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	5 消費生活相談 (老人いこいの家)	6	7
8	9	10	11	12 消費生活相談 (老人いこいの家)	13 ピカピカ1歳教室 (町健康推進課)	14 クリスマスコンサート (町社会教育課)
15	16 心配ごと相談 (町福祉課)	17	18 認知症についての 相談会 (町福祉課) 口座振替日 (町税務課) マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	19 消費生活相談 (老人いこいの家) 4ヶ月・7ヶ月児健診 (町健康推進課)	20 納期限 (町税務課) すくすく2歳児 子育て相談 (町健康推進課)	21
22	23	24	25	26 消費生活相談 (老人いこいの家)	27 行政区配達 (町総務課) 夜間窓口 (町税務課)	28 年末年始閉庁日 (~1/5)
29	30	31	1/1 元旦	1/2	1/3	1/4

※ やむを得ず中止・延期になる場合があります。

## 12月は「国民健康保険制度 適用適正化月間」です

●国民健康保険資格の適正な適用にご協力をお願いします

町では、毎年12月を「国民健康保険制度適用適正化月間」と定め、国民健康保険の資格の適正な適用を推進しています。

■国民健康保険の加入や脱退に関する届け出をお忘れなく

国民健康保険は、74歳までの社会保険（職場の健康保険で共済・船員保険も含む）の被保険者およびその被扶養者を除くすべての人に加入していただく制度です。

社会保険を脱退または加入など資格の変更があった場合は、町住民生活課へ届け出をお願いします。

■国民健康保険への届け出が必要な手続き

●国民健康保険への加入届  
社会保険を脱退した場合に届け出が必要ですが、

▼手続きに必要なもの

離職票や資格喪失証明書などの社会保険を脱退した証明書、マイナンバーが分かるもの

●国民健康保険の脱退届

社会保険に加入した場合に届け出が必要ですが、

▼手続きに必要なもの

社会保険被保険者証または資格確認書、国民健康保険被保険者証、マイナンバーが分かるもの

■社会保険の被扶養者になれる場合がありますのでご確認を

同じ世帯に社会保険の被保険者がいる場合、その保険の被扶養者として認定されることがあります。扶養認定できるかはお勤め先にご相談ください。

■所得の申告はお済みですか

国民健康保険税の軽減判定・税率決定、医療費の限度額認定に必要となりますので、所得の申告がお済みでない人はご相談ください。

【お問い合わせ先】

・国民健康保険の資格について  
町住民生活課 保険係

☎096・234・1113

・国民健康保険税や所得の申告について  
町税務課 課税係

☎096・234・1112

## 特別障害者手当、障害児福祉手当、 特別児童扶養手当のご案内

■障害者支援制度をご利用ください

身体または知的・精神に重度の障がいがある人の福祉の向上を図ることを目的に、精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当の支給が行われています。各種手帳をお持ちでない人も対象となる場合があります。

●特別障害者手当

身体や精神に著しく重度の障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする20歳以上の人に対して支給される手当

▼支給額

2万8840円/月

▼支給月

2月、5月、8月、11月

※所得制限があります。

●障害児福祉手当

身体や精神に重度の障がいがあるため、日常生活において常時の介護を必要とする20歳未満の人に対して支給される手当

▼支給額

1万5690円/月

▼支給月

2月、5月、8月、11月

※所得制限があります。

●特別児童扶養手当

20歳未満で、身体や精神に中度以上の障がいがある児童を扶養している父もしくは母、または父母に代わってその児童を養育している人に対して支給される手当

▼支給額

・特別児童扶養手当1級  
児童一人につき5万5350円/月

・特別児童扶養手当2級

児童一人につき3万6860円/月

▼支給月

4月、8月、11月

※所得制限があります。

※いずれの手当も、申請月の翌月から支給対象となります。

※所得制限や障がいの程度、受給申請に必要なものなどの詳しい要件は、町公式ウェブサイトをご覧ください。か、町福祉課にお尋ねください。

【お問い合わせ先】

町福祉課

☎096・234・1114

(内線145)



## 後期高齢者医療被保険者証の廃止について

■従来の被保険者証の新規発行ができなくなります

国の法改正により、令和6年12月2日にマイナ保険証（保険証登録がされたマイナンバーカード）を基本とする仕組みに移行されることから、従来の被保険者証は廃止されます。このため、廃止日以降は被保険者証の新規発行ができなくなります。

■お手持ちの被保険者証は有効期限まで使えます

令和6年12月1日以前に発行した被保険者証は廃止日以降も有効期限（令和7年7月31日）まで使うことができます。

ただし、令和6年12月2日以降、住所や被保険者証の負担割合に変更があった場合、現在お持ちの被保険者証を使うことはできません。

●マイナ保険証をお持ちでない人

マイナンバーカードをお持ちでない人、マイナ保険証利用の手続きをされていない人には、後期高齢者医療被保険者証の代わりとなる「資格確認書」

を交付します。お手元の被保険者証の有効期限（令和7年7月31日）を迎える前に送付予定です。これまでの被保険者証と同様に医療機関の窓口へ提示することで、引き続き受診していただけます。この「資格確認書」については、申請不要です。

令和6年12月2日から令和7年7月31日までの間の暫定的な運用として、転居、転入、新規年齢到達、負担割合の変更、被保険者証の紛失等があった人は、届け出のときにマイナ保険証の有無にかかわらず、資格確認書を交付します。

●マイナ保険証をお持ちの人

マイナ保険証を利用して医療機関の受診をお願いします。

マイナ保険証の利用が困難な場合、マイナ保険証、資格確認書の利用などご不明な点がありましたら、住民生活課保険係へお尋ねください。

【お問い合わせ先】

町住民生活課

☎096・234・1113

(内線108)

## 12月から産後ケアがはじまります

■産後ケアのサポートを受けて育児の不安を軽減しましょう

産後ケアとは、出産後1年以内のお母さんと赤ちゃんに対し、産後も安心して子育てができるよう、心身のケアや育児のサポートなどを行うものです。産後ケアを利用し適切なケアを受けることで、体力の回復を促し、産後うつや育児ストレスの予防にも繋がります。

▼対象者

甲佐町に住民票がある出産後1年以内のお母さんと赤ちゃんで次に該当する人

- ・産後に心身の不調や育児不安などがある人
- ・家族などから育児の援助が受けられない人

※感染症にかかっている人や医療が必要な人は対象外になります。

▼ケアの種類

- ・訪問型  
自宅に助産師や保育士などの専門のスタッフが訪問し、母親と赤ちゃんのケアを受けるサービスです。
- ・日帰り型  
病院や助産所などの利用施設へ行き、

日帰りで母親と赤ちゃんのケアを受けるサービスです。

・宿泊型

病院や助産所などの利用施設に宿泊し、母親と赤ちゃんのケアを受けるサービスです。1日を通してケアを受けることができ、夜間に赤ちゃんを預かってもらうこともできます。

▼ケアの内容

- ①母親の身体的なケアおよび保健指導、栄養指導
  - ②母親の心理的ケア
  - ③適切な授乳が実施できるためのケア（乳房ケア含む）
  - ④育児の手法について具体的な指導および相談など
- 産後ケアの利用は事前に申請が必要です。利用施設および利用料、申請方法などについては町ホームページをご確認ください。

【お問い合わせ先】

町健康推進課

☎096・235・8711



# くらしの情報

LOCAL NEWS &  
LOCAL INFORMATION

❖ イベント等の開催に関する詳細は各問い合わせ先にご確認ください

## お知らせ

令和7年甲佐町  
二十歳の成人式のご案内

町では、大人の仲間入りをされた皆さんの輝かしい未来を祝福し、明日の甲佐町を担う若者の今後の活躍を期待して、「甲佐町二十歳の成人式」を次のとおり開催します。対象の皆さんには案内を送付していますのでご確認ください。

### 日時

令和7年1月12日(日)

受付開始 午前9時

記念撮影 午前10時

式典開始 午前10時30分

### 会場

町生涯学習センター・ホール

### 対象

平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人

## お問い合わせ先一覧

- ❖ 甲佐町役場  
096-234-1111 (代表)
- ❖ 甲佐町保健福祉センター  
096-235-8711
- ❖ 甲佐町教育委員会  
(町生涯学習センター)  
096-234-2447
- ❖ 水道管理センター  
096-234-0755
- ❖ 町民センター  
096-234-2459
- ❖ 老人憩いの家  
(社)甲佐町社会福祉協議会  
096-234-0423
- ❖ 御船町甲佐町衛生施設組合  
(クリーンセンター)  
096-282-0688
- ❖ 上益城消防署  
096-282-1955
- ❖ 御船警察署  
096-282-1110
- ❖ 上益城広域連合  
096-237-2891
- ❖ 県上益城地域振興局  
096-282-2111 (代表)
- ❖ 県御船保健所  
096-282-0016
- ❖ 県庁  
096-383-1111 (代表)

### お問い合わせ先

町社会教育課

☎096・234・2447  
(内線324)

### 上益城消防組合消防職員採用試験について

上益城消防組合では、令和6年度消防職員採用試験(一般事務・二次募集)を行います。

### 受験資格

昭和50年4月2日以降に生まれた人で行政・民間などでの事務経験が1年以上ある人

### 試験日および場所

・1次試験

令和7年1月26日(日)

上益城消防組合本部

・2次試験

令和7年2月下旬

### 申込受付期間

令和6年12月16日(月)から令和

### 7年1月9日(木)

お申し込み・お問い合わせ先

上益城消防組合消防本部 総務課  
☎096・282・1959

### 年末年始の旅券申請・交付受付について

町では、パスポート(旅券)の申請・交付受付を行っています。

パスポートの交付申請から受け取りまでに9日間(土・日曜日、祝日および年末年始を除く)を要します。

12月28日(土)から令和7年1月5日(日)まで旅券申請・交付窓口は

休みとなりますので、申請が必要な場合は、余裕を持って町民生活課

窓口までお越しください。

### 申請受付時間

月曜日～金曜日 午前9時～午後

4時30分

※土・日曜日、祝日および年末年始を除く

### お問い合わせ先

町民生活課

☎096・234・1113  
(内線101)

### 不動産を公売します

町では、不動産の公売を次のとおり実施します。

### 公売財産

宅地2筆(甲佐町大字田口地内)

※付属建物(小屋)あり

面積 約660㎡

### 入札期間

12月18日(水)～12月25日(水)

※物件明細や、見積価格などの詳細は税務課へお問い合わせください。

※町税の完納などにより、公売中止となる場合があります。

### お問い合わせ先

町税務課

☎096・234・1112

農地の賃借についての条件が緩和されました

町では、農地中間管理機構（農地バンク）を介した貸し借りをする場合、借り手（耕作者）については、認定農業者・新規就農者・各地区の担い手の人のみを対象としていますが、農業従事者の減少や担い手不足といった状況を鑑み、令和6年12月1日から、借り手の条件を緩和します。詳細は町農政課までお問い合わせください。

▼お問い合わせ先

町農政課

☎096・234・1176

(内線153)

道路に張り出ししている木の伐採にご協力を

道路や歩道への枝の張り出しや倒木により歩行者や自動車等に損害が発生した場合、樹木所有者の管理責任を問われることがあります。道路沿いで樹木を所有されている人は点検を実施していただき、危険な場合は伐採するなどの措置を講じていただきますようお願いいたします。

▼お問い合わせ先

県道路保全課

☎096・333・2495

年末年始のごみ収集・し尿くみ取り計画【12月24日（火）～1月4日（土）】

●家庭ごみ収集

	収集地区	収集日	クリーンセンターへの直接持ち込み
年末	星の川団地、立岩団地、竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	12月26日（木） 12月30日（月）	・通常持込期限 12月29日（日） ・通常持込時間 午前9時～午後4時30分 ・持込料 100円/10* ※個人の持込可 ※時間厳守
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	12月24日（火） 12月27日（金）	
年始	星の川団地、立岩団地・竜野地区（上早川五区・あゆの里緑川団地を除く）、乙女地区、白旗地区	1月6日（月）から	1月4日（土）から通常持ち込み可
	宮内地区、甲佐地区（星の川団地・立岩団地を除く）、上早川五区、あゆの里緑川団地	1月4日（土）から	

▶お問い合わせ先 御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター） ☎096 - 282 - 0688

●し尿くみ取り

	収集地区	くみ取り日	備考
年末	全地区	12月27日（金）まで	年末は非常に混み合いますので、12月20日（金）までにお申し込みください。
年始	全地区	1月4日（土）から	通常受け入れ可

▶お申し込み・お問い合わせ先

- ・宮内地区、甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部、星の川団地①）、竜野地区、乙女地区、白旗地区（有）甲佐衛生社 ☎096 - 234 - 1217
- ・甲佐地区（東寒野区・西寒野区・上豊内区の一部を除く、星の川団地②）米村衛生（有） ☎096 - 234 - 0308

traffic safety

事件・事故件数

種別	発生件数	
	10月	年累計
人身事故	2	8
物損事故	22	164
盗難など	1	8

10月31日現在

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	3	0
原野	14	+3
その他	14	+2
合計件数	31	+5

11月15日現在

tax

町税などの滞納処分(10月分)

種別	件数・金額など
捜索	1件
差し押さえ件数	26件
公売回数	1回
公売件数	0件
滞納処分関連収入	428,313円

## お知らせ

**道路緊急ダイヤル  
（#9910）通報のお願い**

道路緊急ダイヤルは、道路における倒木や穴ぼこ等、道路異状を発見した場合の通報窓口です。このダイヤルに通報いただくことで、速やかに応急処置等を実施することができ、道路の異状による事故を未然に防ぐことができます。道路異状を発見した場合は、速やかに#9910にご連絡をお願いします。

### お問い合わせ先

県道路保全課

☎096・333・2495

## 募集

### 町職員を追加募集します

町では、令和7年4月1日採用予定の職員を追加募集します。

### 申し込み受付期間

令和6年12月16日（月）～令和7年1月9日（木）

### 試験日

令和7年1月26日（日）

### 募集職種

一般事務（高卒程度）、保健師

詳細は、町総務課までお問い合わせください。

### お問い合わせ先

町総務課

☎096・234・1140

（内線221）

### 農業委員・農地利用最適化 推進委員を募集中

町および甲佐町農業委員会は、農業委員および農地利用最適化推進委員を募集しています。

### 農業委員

農業委員は、農業に関する見識を有し、農地などの利用の最適化を推進します。

### 主な業務

- ① 農地利用の最適化（転用違反の是正指導など）のための推進活動や相談活動など
- ② 遊休農地の発生防止および解消に向けた利用状況および意向調査など
- ③ 許認可に伴う業務
- ④ 毎月の農業委員会定例会総会などへの参加

### 募集人数

14人

### 農地利用最適化推進委員

農地利用最適化推進委員は、農業委員と密接に連携し、農地利用の集積・集約化・新規参入の促進・耕作

## 令和7年度甲佐ブランド「こうさんもん」認定申請を募集します

町では、令和7年度登録の甲佐ブランド「こうさんもん」認定申請を募集します。「甲佐ブランド『こうさんもん』認定制度」は、本町の豊かな自然の中で育った農作物や加工品などの魅力ある商品を町のブランド品として認定し、町や甲佐町商工会などが応援することで本町の活性化を目指すものです。

### ●認定基準

- ① 本町らしさを表現している商品であること（名称やデザインなど本町を表現するもので、イメージアップにつながる商品や、主原料または一部に本町産のものを使用していること）
- ② 商品に独自性・優位性があること（ほかの産地や類似商品と比較して、商品の特性に独自のこだわりがあること）
- ③ 安全性・生産性・販売体制・認定後の意欲が整っていること

### ●申請者の条件（申請者は次の①～③のいずれかの条件を満たすものとします）

- ① 個人の場合 町内在住かつ町内に生産もしくは製造拠点が存在すること
- ② 法人の場合 町内に生産もしくは製造拠点が存在すること
- ③ その他、町長が認めたもの

●申請期限 12月23日（月）午後5時

●認定審査会 令和7年2月（予定）

### 【お問い合わせ先】

※詳細は、町地域振興課にお尋ねください。

町地域振興課 ☎096 - 234 - 1154（内線237）



# literary work

うたごよみ ~師走~

## 「短歌」

塚原 曉益 選

柿も熟れ稲も刈られて夏と秋  
同居しながら時が移ろう

吉永由紀子

有線のエーデルワイス流れ来る  
おだやかな朝川沿いの町

岡部 律子

姪からの新米届き朝食は  
ほのかな香り幸せ香る

内田乃武子

酷暑日も狭庭に咲いた日扇に  
ひやり冷たい秋雨の降る

赤星 延子

運動会ラインの動画くり返し  
曾孫らの笑顔弾けて嬉し

池田キヨ子

新米を味わいながら食す時  
この一年の苦労忘るる

緒方 明美

独りゆく八十路の坂は遠すぎる  
ここで休むか先まで行こか

塚原 曉益

## 「肥後狂句」

北川直美 選

うち忘れ  
平仮名で書く日記帳

広田みどり

うち忘れ  
勉強会ア今日だった

下山 千恵

うち忘れ  
今日も日課の鍵探し

志垣 光

うち忘れ  
しっかり見たら主人たい

平井やよい

うち忘れ  
あやした孫に助けられ

光永 六

うち忘れ  
カートに手提げ下げたまま

井元あざみ

うち忘れ  
二重に入れたスケジュール

日高 美里

うち忘れ  
思い出せずに引き返し

上田 梅清

うち忘れ  
時々レシピ開かなん

北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
☎096・234・2447 (内線321)



## ひとの動き

10月11日(金)~11月10日(日)届出

### お誕生

住所	氏名	性別	保護者
麻生原	松本 美澄	男	翔 太
豊内	古閑 月葉	女	信 介
麻生原	緒方 梨斗	男	浩 樹
豊内	福島 怜音	男	竜

ほか2人

### ご結婚

今月の婚姻夫婦 1組

### お悔やみ

住所	氏名	年齢	世帯主
中山	井芹 春子	101	博 史
田口	和田 節子	90	節 子
世持	金柿 隆利	87	隆 一
仁田子	佐藤美智子	91	美智子
豊内	佐野 陽一	70	峰 子
糸田	吉永 俊徳	85	憲 子
中横田	宮澄 安一	91	安 一
豊内	池田 真理	19	実
仁田子	甲斐 憲俊	102	公 俊
早川	櫛山 和郁	86	正 月
横田	田上 憲昭	73	笛 美

ほか5人

## Let's make health

甲佐の野菜で作ってみよう!

### カボチャの重ね蒸し焼き

レシピ提供: 料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



#### 【材料】 3~4人分

豚薄切り肉……………300g  
 カボチャ……………1/4個分  
 玉ねぎ……………1個  
 シメジ……………1袋  
 塩コショウ……………適宜  
 (好みでスライスチーズ)

#### 【作り方】

- ①カボチャと玉ねぎは約5~6mmの薄切りにし、シメジは1本ずつに分け食べやすい大きさにしておきます。
- ②玉ねぎとシメジをフライパン全体に敷き詰めて、軽く塩コショウを振ります。
- ③②に食べやすく切った豚肉を広げます。その上にカボチャを1mmずつ重ねながら並べていきます。
- ④カボチャ全体に軽く塩コショウを振りますが、好みでチーズをのせると豪華になりますね。フライパンの蓋をして中火で約15分蒸したら出来上がりです。ソースやケチャップを添えましょう。

### ご存じですか?

甘くてホクホクしたカボチャは、緑黄色野菜の中でもその栄養素はトップクラスです。昔から“冬至にカボチャを食べると風邪ひかない”といわれるくらいたっぷり含まれたビタミンCやEが免疫力を上げるのに大変効果的なのです。

おかずとして煮物など、そしておやつにと色々な調理法があります。食べて、より健康になりましょう。

### 編集後記

最近朝晩が冷え込む日々が続く、本格的な冬の到来を感じるようになりました。

今月号では文化の秋・実りの秋・食欲の秋を楽しむ産業文化祭の様子をお伝えしています。当日は途中からあいにくの雨模様となりましたが、会場は大勢の人でにぎわい、町生涯学習センターに展示された作品や、練習の成果を発表するステージイベントなど、甲佐の秋の祭典を楽しむことができました。

この広報紙が皆さんの手に届くころには「熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会」の幕も閉じ、新年に向けて忙しい日々が始まっているのではないのでしょうか。体調管理には十分気を付けて多忙な師走を乗り切りましょう。

(ゆ)

## ふるさと甲佐

### 応援寄附金

#### ▶ご寄附いただいた皆様

お名前	ご住所
・石井 章義様	大阪府
・加藤 正晴様	京都府
・大橋 洋士様	神奈川県
・佐々木員司様	大阪府
・永田 和也様	大阪府
・川本 武尊様	東京都
・岡 博之様	大阪府

ほか多数

#### ■お問い合わせ

町地域振興課  
 ☎096-234-1154

ふるさと納税の詳細はこちらをチェック!▶





岩本 憲章さん  
Noriaki Iwamoto

〔東京甲佐会会長〕

イワモト ノリアキ / 東京甲佐会会長。上早川一区出身。関東圏在住の本町出身者が集う本会に興味のある方は、事務局(03-3428-9988)までご連絡を。

## 懐かしむだけでなく、故郷のために 何ができるか考えていきたい

「高齢化と共に減少していく会員数を回復させたい」と語るのは、令和5年に東京甲佐会会長に就任した岩本憲章さん。

同会は、関東圏在住の本町

出身者や本町にゆかりのある者で構成され、会員間の交流と親睦を図ると共にふるさと甲佐町の発展に寄与することを目的に平成6年に発足。あゆまつりや熊本甲佐10マイル

ロードレースへの協賛、平成28年に発生した熊本地震への義援金集めなど、本町に対する支援を行う一方で、空き家バンクのチラシ配布など、甲佐町の情報発信も行っている。

発足当時2000人近くいた会員も現在は80人ほど。平均年齢も約30歳増加しており、継続的な新規会員の獲得が大

きな課題となっている。

昭和22年に上早川一区で生まれた岩本さんは、18歳で上京し、故郷を離れた。電子工学の専門学校を卒業後、電子部品の製造・販売会社に就職し、73歳まで50年以上、東京で働いてきた。

「記憶に残る故郷の風景は毎年3月に行われていた賑やかな初市。多くの出店が立ち並びサーカスも来ていた」と話す岩本さんは、総会後の懇親会や会の行事で、ふるさとの思い出を語り合うのを楽しみにしている。

岩本さんは、年4回の理事会開催、年1回発行する『東京甲佐会だより』の編集、総会および懇親会の開催と、重責を担う。加えて、暑気払い会、忘年会、有志による秋の宿泊旅行など多彩な会の行事もある。「歩けるうちは、できる限りの催しに参加したい」とやる気満々な会員たちと共に再び活動を活性化させたいと意欲を燃やす。

そんな岩本会長に蜂谷和明前会長も「これまでも同会の補佐役として多大な貢献をし

てこられた。責任感が強く、会員からも慕われている。その人柄を生かして若い世代を呼び込み、次の世代へ繋いでほしい」と期待を寄せる。

遠く離れた地で暮らしながら思うのは甲佐町のこれから。「我が故郷も例外では無く昭和37年ごろ29世帯だったのが、12世帯と半減している。このままでは限界集落となってしまうのではないか。昭和30年ごろの人口は現在の約2倍。1万9千人くらいだったと思う」とふるさとの現状を憂える。

10月には、会員有志9人で2泊3日の里帰りを果たした。甲佐町の現況を見た岩本さんは、「来年4月に予定している総会・懇親会には、たくさんの方の会員を迎えて、思い出話に花を咲かせたい。そして、故郷を懐かしむだけでなく、ふるさとのために何ができるか考えていきたい」と語る。

遠く離れた地においても、ふるさとを思う気持ちは皆同じ。東京甲佐会は、「同志」の加入を待っている。